

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成27年11月16日 NO.18

花の苗を育てます！・・・サクラソウのポット苗づくり

今年の2月から3月にかけて、かわいいピンクや白の花が学校中で見られたのを覚えていますか。真冬でも花いっぱいの学校になってほしいという願いから、26年の夏休みに種まきをし、その後、子供達と一緒に苗植えをしたサクラソウがきれいな花を咲かせてくれたのでした。

今年度はさらに多くの種を蒔くことにしました。そして、昨日、全学年児童との苗作りが終了したところであります。昨年度は裏庭に置いたままでしたが、子供達にもっと身近に感じてほしいという願いから東昇降口近くに設置場所を作りました。自分のサクラソウがどのように成長していくかを子供自身が見守ってくれば嬉しく思います。一人一鉢運動のねらいもそこにあります。なお、成長の悪い苗などはすぐに校長先生に教えて下さい。スペアをたくさん用意してありますのですぐに対応いたします。

これから寒くなりますが、このサクラソウは耐寒性の強い種であり、冬の太陽を浴びて少しずつですが、葉を広げ根を深く張り続けてくれます。そして、早春から花を咲かせてくれることでしょう。

3月25日の卒業式には、54名の子供達の門出を祝福するかのように、国立七小のあちこちにサクラソウの花がいっぱいになることを、一緒に夢見、楽しみにしていましょ！



花の種をさしあげます！・・・菜の花・レンゲソウなどあります

今年の3月から4月にかけて、鮮やかな黄色の菜の花が校庭のあちこちで見られたのを覚えていますか。冬ざれの校庭を何とかしたい、花いっぱいの学校にしたいという思いから、苗をたくさん植えることにより、多くの花を咲かせてくれたのでした。

花の後にたくさんの実がなり、その後、校内放送で呼び掛け、児童有志と一緒に菜の花の種取りをしました。たくさん取れた苗は、10月から11月にかけて、子供と一緒に校庭のあちこちに蒔きましたが、まだまだたくさん残っており、先日、希望した子供達に少しずつわけてあげました。しかし、その数は大変なものでまだまだたくさんあります。保護者・地域の方で欲しい人に差し上げることにしました。

また、レンゲソウもとても大好きな花なので、学校中に咲かせたいと思い、谷保地域の方にお願した所、1kg（数は約30万個）もの種を頂くことができ（詳細は国立てくてく3NO.64参照）、菜の花と同じく子供達に分けてあげました。しかし、その数は菜の花と同じく、大変な量でまだまだたくさんあります。そこで、残りは学校公開の11月21日（土）に、校長室前に置いておきますので、希望者はどうぞご自由にお持ち帰り下さい。なお、一人でも多くの方にお分けしたいので、お一人様、一つずつとさせていただきます。早い者勝ちなので、無くなり次第終了と致します。

国立七小が花いっぱいの学校になり、谷保・富士見台の地域が花いっぱいになることを願っております。なお、春4月には、ヒマワリとコスモスの種も差し上げます。

